

消防だより

令和5年(2023年)
7月未現在の出動件数

| | | | |
|----------|----------|----|------|
| 有田川町消防本部 | ☎52・5950 | 火災 | 10件 |
| 吉備金屋消防署 | ☎52・5950 | 救急 | 793件 |
| 清水消防署 | ☎25・1243 | 救助 | 13件 |

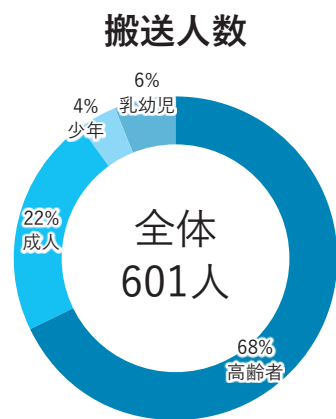
令和5年度全国統一防火標語 「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

救急搬送件数

令和5年(2023年) 1月～6月

令和5年(2023年)上半期(1月～6月)の救急出動件数は644件、搬送人数は601人で、過去最多の昨年の同時期と比較して、ほぼ同数で推移しています。

救急搬送人数を年齢別に比較すると、高齢者が410人と最も多く、全体の約68%を占めています。成人は135人、少年は23人、乳幼児は33人、新生児は0人でした。



※新生児/生後28日未満

乳幼児/生後28日以上～満7歳未満

少年/満7歳以上～満18歳未満

成人/満18歳以上～満65歳未満

高齢者/満65歳以上

救急の日

厚生労働省は、救急業務および救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、毎年9月9日を「救急の日」、この日を含む1週間を「救急医療週間」と定めています。毎年全国各地で応急手当の講習会や救急車の適正利用についての普及啓発、救急医療関係者への表彰など、さまざまなイベントが開催されます。

当消防本部でも、一人でも多くの住民が、心肺蘇生や止血などの応急

手当が行えるように、年間を通じて応急手当の普及啓発に取り組んでいます。9月10日(日)には、金屋文化保健センターで日曜救急講習会を開催します。この機会に応急手当講習会の受講や救急車の適正利用について考えてみませんか。

●お問い合わせ・お申し込み/有田川町消防本部 ☎52・5950

宝くじの助成金で

可搬式消防ポンプを更新しました

消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、昼夜を問わず活躍し、住民の皆さまの安心安全を日々守っています。今回、消防団装備の充実を図るため、宝くじの助成金「コミュニティ助成事業」により、可搬式消防ポンプを更新しました。



病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

コミュニティ助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの収益を財源として行う社会貢献広報事業です。安全な地域づくりと共生のまちづくりや地域文化への支援、地域の国際化の推進および活力のある地域づくりなどに対して助成を行っています。